

## 令和5年度袖ヶ浦市郷土博物館事業実績

### (1) 博物館協議会

博物館法第20条に基づいて博物館の運営に関し館長の諮問に応じ、博物館の各種事業企画等について審議するとともに、令和4年度に新たに策定した博物館活動の指針『袖ヶ浦市郷土博物館の使命—そではく35の展望—』に基づき、昨年度の郷土博物館の運営に関する点検と評価を実施しました。

#### 博物館協議会 会議開催状況

回	日 程	内 容	参加者
1	7月21日 (金)	・令和4年度郷土博物館の運営に関する点検と評価について ・令和5年度郷土博物館の事業計画について ほか	9名
2	11月21日 (火)	・市原歴史博物館の活動について（現地視察） 展示施設・収蔵施設・歴史体験館の視察、博物館活動の説明	9名
3	2月8日 (木)	・令和5年度郷土博物館事業の成果と課題について ・令和6年度袖ヶ浦市郷土博物館経営方針及び重点施策（案）並びに令和6年度事業計画（案）について ほか	10名

### (2) 博物館運営事業

博物館活動を円滑に遂行するための各種事務、並びに千葉県博物館協会・君津地方公立博物館協議会等の各種関係団体との情報交換・調査研究・研修等を行いました。また、第71回博物館大会においては、実行委員及び当日サポートスタッフとして企画、運営に協力しました。

#### ・第71回博物館大会（千葉県大会）

11月15日(水)～17日(金) 全国博物館フォーラム、分科会、シンポジウムほか

#### ・君津地方公立博物館協議会研修会

12月13日(水) 館外研修会「市川自然博物館及び浦安市郷土博物館の視察」

1月18日(木) 第1回「千葉県文書館企画展及び千葉市立郷土博物館特別展見学」

2月14日(水) 第2回「博物館におけるこれからのデジタル発信について」

講師：TRC-ADEAC 株式会社 堀尾あづみ 氏

#### ・千葉県博物館協会研修会

1月31日(水) 「デジタルアーカイブの課題と展望」

講師：千葉市美術館 館長 山梨絵美子 氏

東京文化財研究所文化財情報資料部 専門職員 城野誠治 氏

### (3) 調査研究事業

地域の歴史に関する資料の収集・保存等の調査や企画展に関する調査を行うとともに、学

芸員の個別調査研究を進め、調査の成果を展示や教育普及事業等に活用することができました。

- ・ 袖ヶ浦市の縄文時代・弥生時代に関する調査
- ・ 袖ヶ浦市内の生物に関する調査
- ・ 中世荘園に関する調査
- ・ 旧石器時代に関する調査
- ・ 古代の植物利用に関する調査

#### (4) 教育普及事業

地域に根ざした博物館活動、市民の学習意欲に応えられる博物館活動の一環として、各種講習・講座の充実を図りました。令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が、季節性インフルエンザ等と同等の第5類感染症へ移行したことにより、ミュージアム・フェスティバルをはじめとしたほぼ全ての事業を、コロナ禍以前の形態で実施することができました。

また、令和2年度から継続してきた国庫補助事業『民俗文化財等伝承・活用事業』は、4年間の集大成として、講演会の開催と記録誌の刊行を行いました。

<b>★博物館講座「袖ヶ浦学」(5回)</b> 歴史・民俗分野を主としながらも、多角的に「袖ヶ浦」に迫る内容としました。	4月～2月	
第167回(友の会記念講演会)「城からたどる袖ヶ浦の戦国時代」 講師：大多喜町教育委員会 小高 春雄	4月23日(日)	53人
第168回「拓本ってなに?～身近なものから国宝までを写し取る技～」 講師：書家・拓本家 金木 和子	7月22日(土)	18人
第169回「地震の歴史をまなぶ」 講師：東京大学地震研究所 加納 靖之	10月22日(日)	27人
第170回「袖ヶ浦のお医者さん列伝」 講師：袖ヶ浦市郷土博物館 桐村 久美子	12月16日(土)	30人
第171回「そではく冬のバードウォッチング2024」 講師：千葉市野鳥の会 会長 大島 健夫	3月9日(土)	15人
合計		143人
<b>★第26回ミュージアム・フェスティバル</b> 昨年度は開館40周年事業として11月に開催したため、6月開催はコロナ禍以降初となりました。ジャグリングや積み木ショー等親子で楽しめるプログラムのほか、勾玉づくり、火起こし体験、たたき染め等博物館ならではの体験を実施し、多くの参加者が体験しました。	6月10日(土) 6月11日(日)	1,639人

<b>★自然と歴史の散策会（2回）</b> 県内外の史跡・博物館等を見学し、自然や歴史に親しむとともに、市民の交流と学びの場として事業を展開しています。	6月・12月	
第1回「市原歴史博物館・上総国分尼寺跡展示館見学」	6月25日(日)	20人
第2回「小平市ふれあい下水道館、国立天文台見学」	12月13日(水)	23人
合計		43人
<b>★夏の子ども向けイベント</b>		
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」関連事業「上池いきもの調査隊！ 拡大スペシャル」 講師：環境省希少野生動植物種保全推進員 大島健夫	7月29日(土)	12人
<b>★博図公連携事業等(公民館等体験事業、出前講座等のアウトリーチ)</b>	通年	
市民会館・平川公民館第2回乳幼児家庭教育学級「自然とふれあう 虫の観察会」	6月18日(日)	14人
総合教育センターなつやすみ調べ学習相談会(歴史、虫・水生生物)	7月26日(水)	13人
わんぱくクエスト(ナイトミュージアム)	7月26日(水)	18人
わんぱくクエスト(館内見学・火おこし体験・ナイトミュージアム)	7月27日(木)	27人
わんぱくクエスト(館内見学・火おこし体験)	7月28日(金)	8人
根形公民館第3回地域再発見講座「蔵波・川原井城跡地をめぐる！」	9月15日(金)	18人
平岡公民館第3回ひらおかシニアセミナー「高谷地区歴史探訪」	9月21日(木)	16人
退職校長会歴史ウォーク「横田郷」	10月17日(火)	11人
畑沢公民館はたざわ歴史講座第5回学習会「弥生時代とは」	10月20日(金)	31人
市民会館第1回男性セミナー「鎌倉街道を歩こう！」	10月22日(日)	19人
合計		175人

★そではく考古学講座 弥生時代研究最前線 (5回・連続講座)	10月～2月	
第1回「稲作伝来から弥生の争い、そしてクニのまとまりへ」 講師：郷土博物館 西原 崇浩	10月7日(土)	23人
第2回「邪馬台国時代の前夜から卑弥呼の台頭、そして古墳時代へ」 講師：郷土博物館 西原 崇浩	10月28日(土)	29人
第3回「弥生の風、古墳の路 房総から見た邪馬台国時代とその前後」 講師：市原市埋蔵文化財調査センター 小橋 健司	12月10日(日)	29人
第4回「国立歴史民俗博物館見学」	1月13日(土)	25人
第5回「袖ヶ浦の歴史を辿る 弥生から古墳へ」 講師：袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 鎌田 望里	2月11日(日)	26人
合計		132人
★その他各種普及事業 市民学芸員や博物館友の会のワークショップや単発的な各種講座等を開催しています。	通年	
令和4年度企画展Ⅲ「袖ヶ浦の美術Ⅱ 傘寿記念 辻元大雲 回顧書展」ギャラリートーク①(令和4年度継続事業) 講師：辻元 大雲	4月2日(日)	75人
令和4年度企画展Ⅲ「袖ヶ浦の美術Ⅱ 傘寿記念 辻元大雲 回顧書展」ギャラリートーク②(令和4年度継続事業) 講師：辻元 大雲	4月8日(土)	65人
企画展Ⅰ「井出先生の写真館ーキミ、シニタマフコトナカレー」関連事業「こんな本読んでたんだね、戦時中の子どもたち」	5月5日(金)	68人
企画展Ⅰ「井出先生の写真館ーキミ、シニタマフコトナカレー」展示解説会(第1回)	5月6日(土)	7人
企画展Ⅰ「井出先生の写真館ーキミ、シニタマフコトナカレー」展示解説会(第2回)	6月10日(土)	29人

企画展Ⅰ「井出先生の写真館ーキミ、シニタマフコトナカレー」展示解説会（第3回）	7月1日（土）	24人
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」展示解説会（第1回）	10月15日（日）	7人
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」関連事業「里山を歩いて考えようーどう守る？袖ヶ浦の在来種ー」 講師：上総自然学校 上田 隆 環境省希少野生動植物種保全推進員 大島 健夫	10月29日（日）	17人
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」関連事業『クイズ「そではくからの挑戦状 めざせ外来種博士！！』	11月19日（日）～ 12月17日（日）	人数未計測
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」展示解説会（第2回）	11月19日（日）	30人
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」展示解説会（第3回）	12月9日（土）	13人
合計		335人
<b>★国庫補助事業「民俗文化財等伝承・活用事業 上総掘りの技術」</b> 令和2～5年の期間に実施し、令和3～5年度の3か年で上総掘りの技術を後世に伝承し継承するための映像記録を制作しました。（各年1本制作） また、最終年度となる今年度は講演会を開催したほか、技術伝承用記録誌を刊行しました。	7月～3月	
<b>重要無形民俗文化財上総掘りの技術講演会「上総掘りを伝えるために」</b> 講師：袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課 能城 秀喜 上総掘り技術伝承研究会副会長 藤代 かおる 文化庁文化財第一課 主任文化財調査官 前田 俊一郎	2月25日（日）	65人
<b>★上総掘り技術伝承研究会の活動支援</b> 博物館水のふるさと内で掘削等の活動をしています。今年度は、昨年度から引き続き前述の国庫補助事業における動画撮影にご協力いただいたほか、講演会の講師及び記録誌の原稿執筆を願いました。	通年	会員17人

<p><b>★友の会活動への支援</b></p> <p>今年度から新たに1グループが加わり、8グループ(凧の会・土器作りの会・仏像を学ぶ会・何でも有り会、古文書いろはの会、機織りの会、盆栽愛好会、植物画葉月の会)が自主的に活動しています。</p> <p>自主活動のほかに、博物館と協働で2つ事業を実施したほか、会報「友の会だより」53・54号を発行しました。</p>	通年	会員 59 人
<p><b>【友の会協働事業】</b> もっと知りたい講座「しいのもりを歩く 一みて・まなぶ草木と里山―」</p> <p>講師：椎の森里山会</p>	11月25日(土)	15人
<p><b>【友の会協働事業】</b> 袖ヶ浦市郷土博物館友の会「凧の会」第18回新春凧揚げ会</p>	1月14日(日)	177人
合計		192人

#### (5) 地域資料管理活用事業

館蔵資料(古文書等)の台帳作成及び整理や閲覧対応(デジタル公図を含む)のほか、収蔵資料の保存修復処理及び埋蔵文化財写真のデジタル化を行いました。収蔵環境の維持と整備にも努め、資料保存のための燻蒸処理、虫害等防止のための館内環境整備を行っています。また、会計年度任用職員を雇用し、収蔵庫の資料整理を行いました。さらに、これら博物館の収集・収蔵資料の整理・情報化の成果と、市民による調査研究等を発信するため、『袖ヶ浦市史研究』第22号の原稿を募集しました。

このほか、資料の活用や保存等に係る知見の習得のため、千葉県史料保存活用連絡協議会の研修会に参加しました。

- ・奈良輪漁組史料の保存・修復(31点)
- ・収蔵庫の資料整理及び適切な資料の保存
- ・収蔵資料の調査研究
- ・企画展開催に伴う戦争関係資料や八日講関係資料等の調査研究
- ・収蔵資料のトピックス展示(飽富神社唯一社頭年中行事帳、紫微宮星座呪符木簡)
- ・収蔵資料のホームページでの公開
- ・ホームページの更新、SNSによる情報発信
- ・古文書等表題データベース作成
- ・千葉県史料保存活用連絡協議会研修会

6月6日(火) 講演会「アーキビストの養成―資格・基準および学理構成―」

講師：学習院大学大学院教授 保坂 裕興志 氏

7月20日(木) 現地見学会(市原歴史博物館)

12月8日(金) 第1回研修会「デジタルアーカイブ入門～これからの自治体職員として身につけるべきこと～」

講師：慶應義塾大学文学部准教授 福島 幸宏 氏  
 1月26日(金) 第2回研修会「デジタルアーカイブ実践編」  
 市民・関係人口による文化財情報の取得と公開  
 講師：岐阜県飛騨市教育委員会 三好 清超 氏  
 千葉県市町村の先進事例発表  
 講師：白井市教育委員会 戸谷 敦司 氏  
 講師：大網白里市教育委員会 武田 剛朗 氏

#### (6) 博学連携事業

博物館が学校と連携し、学校教育の中で、博物館の施設や資料を活用することで、子どもたちの経験値向上と郷土愛の育成を図りました。市内小学校3年生の昔の生活体験、6年生の歴史体験といった校外学習のほか、校外学習の実施が難しい学校や、校区の史跡についてのテーマ学習等総合的な学習の時間に対応したアウトリーチを実施しました。また、体験学習等への市民学芸員（ボランティア）の参加により、大人も子供も育つ世代間交流の場としても機能しています。

また、職場体験及び博物館実習生の受け入れを行い、博物館における日常業務のほか、教育普及事業の運営や展示の企画等のプログラムを実施しました。

校外学習支援	通年	市内外の小 学校 13回 718人
実物資料貸し出し	通年	3回 10点
学習相談	通年	14回
学校向けワークシートの作成・活用	通年	3回
アウトリーチ活動(出前展示・出前授業)	通年	5回 615人
学校図書館との連携促進（物流システムの活用）	通年	2回 8点
職場体験受入	通年	1校 1人
博物館実習生受入	通年	1校 1人
インターンシップ受入	通年	1校 1人

#### (7) 展示更新推進事業

市民の知的要求に応え、リピーターの確保に努めるため、企画展2回・ロビー展5回を開催しました。企画展は「戦争」と「外来種」という、地域の記憶と現在進む問題を映し出す内容としました。ロビー展では今年度新たに追加された市指定文化財「飽富神社唯一社頭年中行事帳」を紹介するトピックス展等を行いました。また、屋外展示施設となる旧進藤家住宅では、友の会盆栽愛好会による盆栽展や市民学芸員による五月人形展示などで施設の有効活用を図りました。

さらに、千葉県誕生 150 周年事業「百年後芸術祭～環境と欲望～内房総アートフェス」では、旧進藤家住宅及び復元古代住居、並びにアクアラインなるほど館において、アート作品の展示に協力しました。

<b>★常設展</b> 本館では、映像・歴史・民俗・昭和の暮らし・上総掘り・国史跡山野貝塚各部屋の展示及び情報提供によって、袖ヶ浦市の暮らしの移り変わりなどを理解しやすいものとなりました。 また、屋外展示施設のアクアラインなるほど館・旧進藤家住宅・万葉植物園等の有効活用を図っています。その一環として、万葉植物園における展示の充実と利便性の向上のため、歌意と植物の解説の作成し、読み取り用のQRコードを追加しました。	本館	26,661人
	アクアラインなるほど館	407人
	旧進藤家住宅	11,502人
合計		38,570人
<b>★特別展・企画展</b>		
令和4年度企画展Ⅲ「袖ヶ浦の美術Ⅱ 傘寿記念 辻元大雲 回顧書展」(令和4年度継続事業)	4月2日(火)～4月16日(日)	2,493人
企画展Ⅰ「井出先生の写真館ーキミ、シニタマフコトナカレー」	4月29日(土・祝)～7月30日(日)	8,198人
企画展Ⅱ「袖ヶ浦の外来種」	10月7日(土)～12月17日(日)	6,476人
合計		14,674人
<b>★ロビー展示・ミニ企画展等</b>		
令和5年度 博物館実習展示【そではく×実習生合同企画】「関東大震災から100年ー震災の教訓から考える袖ヶ浦の未来ー」	8月3日(木)～8月30日(水)	1,245人
トピックス展示「新指定文化財展」	9月1日(金)～11月12日(日)	5,065人
千葉県博物館協会巡回展示『地域の魅力再発見「ちばの博物館」』	11月18日(土)～12月9日(土)	1,910人
友の会「盆栽愛好会」早春花展(旧進藤家住宅)	4月21日(金)～4月23日(日)	275人
友の会「盆栽愛好会」秋季盆栽展(旧進藤家住宅)	10月27日(金)～10月29日(日)	310人
友の会「凧の会」大凧ロビー展示	1月4日(木)～	1,355人

	1月31日(水)	
友の会「盆栽愛好会」早春花展(旧進藤家住宅)	3月8日(金)～ 3月10日(日)	391人
市民学芸員自主企画展示「旧進藤家住宅のおひなさま」(旧進藤家住宅・令和4年度継続事業)	4月1日(土)～ 4月2日(日)	372人
市民学芸員自主企画展示『古民家で「端午の節句」』(旧進藤家住宅)	4月25日(火)～ 5月14日(日)	1,118人
市民学芸員自主企画展示「はくぶつかんで七夕まつり」	7月2日(日)～ 7月9日(日)	800人
市民学芸員自主企画事業『万葉こどもまつり「みんなでお絵描き」作品展』	11月23日(木・祝) ～12月24日(日)	2,173人
市民学芸員自主企画展示「はくぶつかんのひなまつり」	2月17日(土)～ 3月31日(日) 【会期2月17日(土)～4月7日(日)】	4,007人
合計		19,021人

#### (8) 市民学芸員協働事業

市民とともに歩む博物館の実現のため、市民学芸員を育成し、協働による博物館事業の実施や調査・研究活動の支援を行いました。

今年度も昨年度に引き続き、新規市民学芸員の獲得のため、通年での連続講座として市民学芸員養成講座を開催し、7名が新規加入しました。また、既存の市民学芸員の意識向上と学びサポートのため、フォローアップ研修を実施しました。さらに、令和6年度企画展Ⅰ「出羽三山と袖ヶ浦の山岳信仰」に向けたワーキンググループを結成し、博物館と協働で展示の企画及び調査を行いました。

<b>★市民学芸員養成講座(11回・連続講座)</b>	4月～2月	
第1回「オリエンテーション/教育普及事業・博学連携事業と市民学芸員活動について」	4月22日(土)	4人
第2回「小学校6年生体験学習スタッフ養成講座」	5月13日(土)	4人
第3回『博物館の仕事を見よう「バックヤードツアー」』	6月24日(土)	5人
第4回「I PMについて学ぼう」※博物館実習と合同開催	7月22日(土)	4人
第5回「そではく大解剖!そではく辛口採点会」	8月5日(土)	4人
第6回「博物館の調査研究とフィールドワークの心得」	9月9日(土)	6人

第7回「フィールドワーク実習（下新田・医王寺石造物野外調査）」	10月14日（土）	7人
第8回「よその博物館を見に行こう—松戸市立博物館・戸定歴史館・戸定邸の見学—」	11月11日（土）	6人
第9回「小学3年生体験学習スタッフ養成講座」	12月9日（土）	6人
第10回「博物館の資料整理を体験しよう」	1月20日（土）	6人
第11回「修了式・記念講演会」 ※第2回フォローアップ研修と合同	2月24日（土）	7人
合計		59人
<b>★市民学芸員フォローアップ研修（2回）</b>	10月、2月	
第1回『移動研修「国際理解と宗教」』 東京ジャーミイ・駒澤大学禅文化歴史博物館見学、 等々力不動尊拝観	10月5日（木）	8人
第2回「日本人ムスリムによる、イスラームのお話」 講師：東京ジャーミイ・トルコ文化センター広報・ 出版担当 下山 茂	2月24日（土）	9人
合計		27人
<b>★自主企画事業、外部事業への参加等</b>		
袖ヶ浦市商工会青年部・袖ヶ浦市内房総アートフェ ス推進協議会共済事業「がうらっこ未来 CANvas ～ SODE JOB & ART～」出展	9月30日（土）	103人
市民学芸員自主企画イベント「万葉こどもまつり」	11月23日（木・祝）	250人
正月お飾り作り	12月19日（火）	5人
合計		358人
<b>★定例会、事業協力、グループ活動等</b>		
全体会議・定例会 ※4月、6月、8月、11月、1月は中止	5月27日（土）	15人
	7月30日（日）	8人
	9月24日（日）	13人
	10月29日（日）	11人
	12月23日（土）	14人
	2月24日（土）	8人
	3月24日（日）	15人
体験学習協力 ※11回実施分の延べ人数	6月～3月	51人

万葉植物園整備（万葉グループ活動）	通年	会員数 10人
地域の史跡・文化財調査（郷土を学ぶ会活動）	通年	会員数 4人
企画展ワーキンググループ	8月～3月	グループ人数 13人

### （9）施設管理事業

博物館施設として恒常的に適正な施設環境を整備するために、本館及び屋外展示施設等の維持管理（修繕・工事・清掃・警備委託・緑地管理・各種点検業務・資料くん蒸・環境測定等）を行いました。また、収蔵庫内の資料の適正な管理のため、老朽化の進んだ第2収蔵庫の空調機を更新しました。

日常的な展示環境・収蔵環境の管理としては、年間を通してIPM（総合的有害生物管理：日常的に収蔵環境を管理し、薬剤だけに頼らず文化財等をカビや文化財害虫等の有害生物から防除する方法）の理念に基づき、文化財害虫の駆除や侵入防止用テープの設置のほか、発生源になりうる個所を中心とした清掃作業等を実施しました。

さらに、博物館来館者が安心・安全に見学できるよう月1回の安全点検と、消防署の協力による本館避難訓練及び旧進藤家住宅の消火訓練を実施しました。

- ・修繕5件

- 郷土博物館エントランスコート床タイル張替修繕

- 郷土博物館本館多目的トイレ自動ドア装置交換修繕 他

- ・消防避難訓練

- 本館：令和5年9月5日（火）に火災を想定した避難訓練を実施

- 旧進藤家住宅：令和6年1月25日（木）に火災を想定した避難訓練及び消火訓練を実施